



本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証を取得しました。

セーフコミュニティいずみおおつ



第 48 回

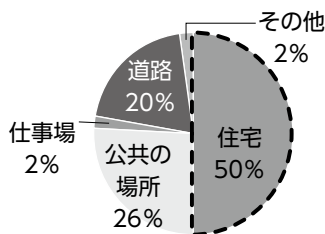
家庭内でのけが防止 に向けた取り組み

ご存じでしたか！ 家の中で「けが」が多いことを！

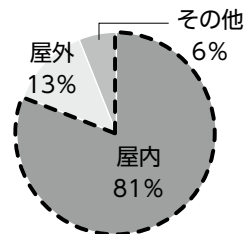
市内で発生する一般負傷での救急搬送 523 件をみると、**半数以上の 264 件が住宅でのけが**です。また、その中でも **81%が屋内でのけが**となっています。

安全で安心できる場所と思える家の中が、実は日常生活のなかで多くのけがの危険が潜む場所となっています。

■一般負傷の発生場所別状況

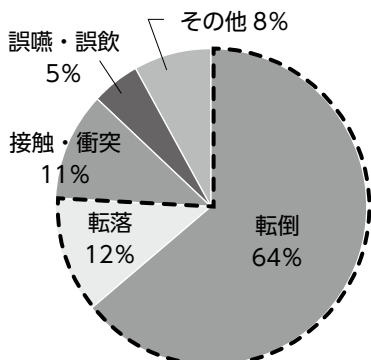


■住宅での一般負傷の場所別状況



(救急搬送データ (2016年) より)

■住宅（屋内）での受傷原因別状況



(救急搬送データ (2016年) より)

家の中で起こるけがの7割以上が 転倒・転落です！

住宅（屋内）でのけが 214 件の原因をみると、転倒が最も多く、転落と合わせると7割を超えています。

「コード類やじゅうたんの端に足をひっかける」、「紙類や階段で足をすべらせる」など、家の中には転倒や転落につながる危険要因がたくさんあります。また、他に誤飲や誤嚥（ごえん）などもみられます。

しかし、ちょっとした注意を払うことや、そういった危険要因を取り除く対策を行うことで、防げるけがもあります。

セーフコミュニティの取り組み

子どもの安全や高齢者の安全対策委員会でも、家の中のけが防止への取り組みを行っており、安全対策を盛り込んだ「安全・安心 我が家のカレンダー」を一緒に作成しています。

カレンダーでは、リビングや台所、風呂など、**家の中のけがの危険箇所**や**対策ポイント**を紹介しています。

右の QR コードや市のホームページからもご覧いただけますので、ぜひ、自宅の危険箇所のチェックや対策を行ってみてください。



◆対策ポイント◆

こういったところも確認してみましょう！

- 小さな段差や敷居を把握していますか？
- 床にすべりやすい、マットや敷物はありますか？
- コード類にたるみがなく、壁にはわけていますか？
- 階段にすべり止めをつけていますか？